

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	4065	(H.24)No.	4065
-----------	------	-----------	------

事務事業名		市営住宅解体事業	
担当部局名	担当室名	室長名	連絡先
都市整備部	営繕住宅室	市井 清己	63 - 7740
新・継	事業期間	根拠法令等	
継続	平成 23 年度 ~ 平成 24 年度	公営住宅法	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	3	快適な生活環境づくり
	施策	3	住宅・住環境
	小施策	1	住環境整備
	重点施策コード		

## 2. 予算区分

会計区分	事業コード	422101
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	土木費	市営住宅解体事業
項	住宅費	(小事業名)
目	住宅事業費	市営住宅解体事業

## 3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>「老朽した市営住宅の整備方針」に基づき、既に耐用年数を超過し空き家となった6団地のうち、残りの3団地について、今年度用途廃止に伴う解体除却を行う。</p> <p>対象市営住宅： 栄町、丈六、柏原</p>	

めざす効果(事業目的)
市財源確保の為、解体後用地の売却を目指す。

## 4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)	平成24年度 (計画・作成時予算額)	現在の実施手法(複数選択可)		
	[事業内容(事業量)・事業費]	[事業内容(事業量)・事業費]	市が直接実施	業務委託(全部・一部)により実施	指定管理
主な事業の実績・計画	工事請負費 11,538千円	工事請負費 5,400千円	補助金・交付金		
	解体工事 朝日町市営住宅 8戸 平尾市営住宅 6戸 新田市営住宅 2戸	解体工事 栄町市営住宅 2戸 丈六市営住宅 2戸 柏原市営住宅 4戸	その他 ( )		
	手数料 253千円 委託料 1,280千円 1,533千円	手数料 540千円 委託料 5,403千円 5,943千円	平成25年度 (計画)	平成26年度 (計画)	平成27年度 (計画)
	用地測量・鑑定 朝日町市営住宅用地 平尾市営住宅用地	用地測量・鑑定 栄町市営住宅用地 柏原市営住宅用地 丈六市営住宅用地			
<b>直接事業費</b>	<b>13,071千円</b>	<b>11,343千円</b>			
財源内訳(千円)					
国庫支出金	468	2,400			
県支出金	234	1,200			
地方債					
その他( )					
一般財源	12,369	7,743	0	0	0
人工数					
職員	0.26人	0.82人			
臨時職員等					
<b>概算人件費</b>	<b>1,898千円</b>	<b>5,986千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>
<b>+ 総事業費</b>	<b>14,969千円</b>	<b>17,329千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>	<b>0千円</b>

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。平成23年度の( )内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

### 5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	戸	-	-	-	16	8
	実績		-	-	-	16	
	目標						
	実績						

### 6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
老朽化した市営住宅の整備方針により朝日町、平尾、新田の市営住宅解体除却を行い、朝日町については跡地の売却を行った。	本年度も引き続き老朽化した市営住宅の整備方針により栄町、丈六、柏原の市営住宅解体除却後、跡地の売却を行う。

### 7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
土地の売却については、景気に左右される。特に市営住宅の跡地については条件整備が必要となる。	老朽化した住宅の解体除却により環境が良くなった。

### 8. 担当室による点検 [事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢) の場合) (4)は の場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に関係する地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映予定なし(該当しない)	
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	

### 9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)

事業完了(完了予定含む)

「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項